




パドセブの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1日目	8日目	15日目	16~28日目
パドセブ (エンホルツマブ・ ベドチン) mg	 30分	 30分	 30分	お休み

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10~14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！ 白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

〈ご自身でわかる副作用〉

末梢神経障害

治療を開始した直後に、手足がしびれることもあれば、徐々にしびれが出てくる場合もあります。治療を終えても、しびれが回復するまで時間がかかります。

⇒日常生活に支障が出る時は、主治医に相談して下さい。

脱毛

抗がん剤の種類や患者さん個人によって違いはありますが、治療開始2~3週間後から抜け始めます。髪以外の部分（まゆ毛、ひげ、体毛など）でも同様におこります。治療が終了すれば、少しずつですが生えてきます。

⇒脱毛が気になる場合は、医療用かつらやウィッグ、帽子などをお勧めします。

食欲不振

治療開始後翌日から食欲が落ちることがあり、吐き気止めで対応することがあります。多くの方が一週間ほどで回復します。

⇒無理をせず、消化の良い物や食べられそうな物をとるようにして下さい。

倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

高血糖

血糖値が高くなる場合があります一般的に以下のような症状が現れることがあります。「喉が渇く」、「多飲」、「多尿」、「体重減少」。

⇒あてはまる症状が現れた場合は病院に連絡して下さい。

皮疹・そう痒

体の一部や全身に皮疹（丘疹、紅斑、水疱、発疹）が出ることがあります。かゆみや乾燥を伴うこともあり、症状に応じて飲み薬や塗り薬を使います。

⇒全身への皮疹やかゆみが強い時は病院へ連絡して下さい。

★すぐに連絡をいただきたい副作用



★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）

★「倦怠感（だるさ）」、「食欲不振」、「発熱」、「黄疸（目の白い部分や顔や手が黄色くなる）」、「発疹」、「吐き気・嘔吐」、「かゆみ」（肝機能障害）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。